

サステナビリティ実現への取り組み

サステナビリティに対する考え方

セコムでは、「社業を通じ、社会に貢献する」という企業理念のもと、「企業と社会が共に持続的に発展することが重要である」という考え方を根底に据えて、創業以来、事業を通じたサステナブルな社会の実現に向けて取り組んでいます。事件・事故、サイバー犯罪、自然災害、病気・老化といったさまざまなリスクが顕在化するいま、セコムは“いつでも・どこでも・誰にとっても・切れ目のない安心”を提供する社会インフラである「あんしんプラットフォーム」構想の実現をめざしています。

セコムの企業価値の源泉は、サービス提供を通じてお客様に期待以上の満足を提供して感動を与える「社員」(人財)です。そのため、変化適応力や価値創造力に優れ、社会貢献意欲の高い人財を確保・育成することが欠かせません。企業理念と行動規範がセコムグループの全社員に浸透し、自由闊達な企業風土の中で活き活きと働く多様な人財は、セコムの最大の資産です。また、社会からの信頼を高め、競争力を存分に発揮するためには、コーポレート・ガバナンスを厳格に実践していくことが重要です。

さらに、あらゆる事業活動における地球環境保全に配慮した行動が、「安全・安心」で「快適・便利」な暮らしの基盤確保につながると考えています。

このように、事業活動の拡大を通じた企業価値の向上が、

ESG課題への取り組み向上に直結しており、さらにはSDGs(持続可能な開発目標)にも寄与しているのです。

サステナビリティ推進体制

セコムは、さまざまなステークホルダーの皆様とのつながり・対話を大切にして、サステナビリティの推進に取り組んでいます。サステナビリティの取り組みを、経営戦略と一体的に強化していくことを目的として、総務人事本部に「サステナビリティ推進室」を設置しています。

サステナビリティ推進室では、グループ各社と情報共有を図る場として、定期的に各事業セグメントの環境・CSR責任者・担当者が参加する「セコムグループサステナビリティ会議」を開催しています。国内やグローバルでの社会課題やSDGs、TCFD提言に対するセコムグループの取り組みを促進し、持続的な成長につなげていくことを目的に、情報共有やディスカッションを行っています。

国連グローバルコンパクトへ署名

セコムは、国連グローバルコンパクトが掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則を支持し、2018年5月に署名しました。



ESGインデックスへの組み入れ

セコムにおけるESG課題への継続的な取り組みと情報開示の拡充は、グローバルなESG評価機関からも高く評価されています。セコムは、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が日本企業へのESG投資に採用する4つのESG投資指数※をはじめ、以下のESGインデックスの構成銘柄に選定されています。

※4つの指数:「FTSE Blossom Japan Index」「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」および「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」のこと

FTSE4Good

FTSE Blossom Japan

S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指数

2021 MSCI ESG Leaders
Indexes Constituent

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

THE INCLUSION OF SECOM CO., LTD., IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF SECOM CO., LTD., BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)

セコムでは、「社会が持続的成長をするために必要なものは何か」という、一歩先を見据えた発想でサービスを創出したいという強い思いから、事業活動を通じたCSR^{※1}、CSV^{※2}を実践し、サービスイノベーションに挑み続けています。

社会環境が大きく変化する中で、多様な社会課題の解決に寄与する革新的なサービスシステムを創出すべく、ISO26000とGRIスタンダードを参考に行った自己評価にステークホルダーの皆様からのご意見を踏まえ、社会とともに持続的成長を果すために取り組む重要課題(マテリアリティ)を特定しました。

重要課題の検討にあたっては、「セコムの理念」と「セコムの事業と運営の憲法」の中核となる考えを踏まえ、「社会からの信頼の基盤を固める」「変化適応力・価値創造力を高める」「社会に必要とされるサービスを創出する」という視点を導き出しました。その視点からセコムは、多くのESG課題の中から、事業を通じて社会課題の解決を図り、持続的な企業価値の向上をめざす上で、最も重要な6項目の重要課題を特定しました。

あらゆる不安のない社会の実現を使命とするセコムは、特定したマテリアリティを、個々の経営戦略に組み込んで、全社的に推進していきます。

※1 CSR(Corporate Social Responsibility): 企業の社会的責任
 ※2 CSV(Creating Shared Value): 企業と社会の共有価値の創造

